

伸びゆく子

栗東市立大宝東小学校だより No.7

令和8（2026）年9月30日

児童数 347名

心あたたか活気みなぎり、仲間と共に伸びゆく子

だれにでも優しい子 いきいき学ぶ子 ひととつながる子 がんばりぬく子

「がんばろうとした心」に拍手を！！

朝夕に秋の気配を感じる季節となりました。学校では、運動会に向けて、子どもたちの元気な声が響いています。走ったり、踊ったり、仲間と声を掛け合ったりする姿からは、運動会を楽しみにしている気持ちとともに、一人ひとりの「がんばろう」という思いが伝わってきます。

運動会には、勝敗があります。徒競走では順位がつき、団体競技では勝つこともあれば負けることもあります。もちろん、勝利を目指して全力を尽くすことは大切です。しかし、子どもたちにとって運動会で得るものは、結果だけではありません。体を動かす心地よさを味わう

こと。思うようにできなかったことを何度も練習すること。友だちのがんばりに「がんばれ」と声を送ること。そして、自分の役割を果たすこと。そうした一つひとつの経験の中に、子どもたちの成長（非認知能力※）の伸長があります。

大宝東小学校では、結果だけではなく、一人ひとりが「どんな気持ちで取り組んできたのか」「どんなところでがんばっていたのか」など、そこに至るまでの子どものがんばろうとしたことに目を向け、「がんばっていたね」「友だちと力を合わせていたね」「最後までやり切ったね」「苦手（いや）でもちゃんとやろうとしていたね」など、努力や成長を認める言葉がけを大切にしたいと考えています。



(※)

非認知能力とは？

テストの点数では測れない、心や社会での力のことです。
意欲・感情・社会性などが含まれ、人生を豊かにする力です。

やり抜く力



目標に向かって
続ける力

自分を
コントロールする力



気持ちや行動を
うまく調整する力

人とつながる力



他者と協力し、
良い関係をつくる力

自ら考え
行動する力



自分で考え、
進んで行動する力

新しいことに
挑戦する力



変化を前向きにとらえ、
チャレンジする力



非認知能力が、よりよい人生の土台となります。

今年の運動会が、一人ひとりにとって「できた」「勝った」だけでなく、「がんばってよかった」「挑戦してよかった」と思える一日になることを願っています。そして学校と家庭が一緒になって、子どもたちの「がんばろうとした心」に、大きな拍手を送る機会にしたいと思います。

ご理解・ご協力の程よろしくをお願いします。

全校除草作業

天候が心配される中でしたが、たくさんの保護者の皆様にご協力をいただき、運動場の草抜きを行いました。雨上がりだったので、力のいる作業も、比較的やりやすかったようで、運動場が見る見るうちにきれいになっていきました。子どもたちのまなざしから、自分たちの学びの場を自分たちできれいにしようという気持ちが表れていて、大変うれしく感じました。暑い中ご協力をいただき、本当にありがとうございました。



運動会の練習が始まりました！



今週はようやく気温が下がってきましたので、本格的に運動会の練習を始められるようになりました。

我慢をしていた外遊びもできるようになり、水分をとりながら、のびのびと体を動かせることに喜びを感じている様子です。

疲れておうちに帰って来られる日もあるかと思うので、十分おうちで休養していただきますよう、ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。



5年生 ダイハツ出前授業



社会科の学習ではダイハツさんに出前授業を行っていただきました。



自動車を組み立てる作業を、実際に模型を使用して行ったり、タイヤの取り付けなどを体験させていただいたりしました。流れ作業全体では、3000点もの部品を取り付けていくと聞いて、大変驚いている様子でした。この学習を通じて、自分たちの生活は、働く人々によって支えられているということを実感しました。



わかば校外学習

今年は芸術のすばらしさにふれることを目的に、佐川美術館へ出かけました。

栗東駅から守山駅まで電車に乗り、駅からバスに乗りました。ドキドキしながらも、落ち着いて行動し、安全にたどり着くことができました。

美術館では、絵の世界に入り込んで、音楽や映像を楽しみました。

上学年のみんなが下学年の友だちの手を引いて歩いていた姿がとても素敵でした。

